

日時 平成16年11月15日(月) 5校時
児童 第6学年男14名女13名計27名
指導者 浅利 宏光

1 単元名 平和で豊かな暮らしを目ざして

2 単元について

- 前単元「アジア・太平洋に広がる戦争」で、子供たちは、満州事変や日中戦争、アジア・太平洋を戦場として行われた戦争の経緯と状況、当時の人々の暮らしの様子について追究した。この学習を通し、子供たちは、国内だけではなく外国の国々にも多大な被害があったことを理解し、国民や中国をはじめとしたアジアの人々の思いについて自分の考えをもった。

本単元は、学習指導要領第6学年2内容(1)のク「日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。」にかかわる単元である。この単元の学習を通し、平和で豊かなくらしができることの尊さを理解させ、これからの日本のあり方について考えを深められるようにしたい。

- 1946年の日本国憲法制定を基本として、選挙法改正や農地改革、財閥解体、教育制度改革などにより、民主的な国家をめざした国づくりが進められた。

1951年のサンフランシスコ平和条約の締結で日本の独立が認められたが、中国は招かれず、インド・ビルマは参加せず、ソ連など3国は調印を拒否した中での条約締結であった。1956年に国際連盟に加盟、同年日ソ共同宣言、1965年日韓基本条約、1972年日中共同声明、同年アメリカからの沖縄の日本復帰などにより、世界の国々と国交を正常化し、文化・経済などの協力関係が深められた。

この間、1950年の朝鮮戦争、1954年のベトナム戦争により、アメリカからの軍需物資の注文等で日本経済が活気づき、高い経済成長率となったこの時期は高度経済成長とよばれた。

1964年アジアではじめて開催されたオリンピック東京大会や1972年の冬季オリンピック札幌大会等、国民生活の向上とともに、我が国は国際社会の中で重要な役割を果たすようになった。

- 子供たちは、歴史関係の図書を読んだり自主学習に社会を行ったりする子供もおり、日本の歴史について学習することをおおむね好意的にとらえている。反面、日清戦争をはじめとする武力による悲惨な事実、我が国の歴史についてマイナスなイメージをもちはじめている子供もいる。

これまでの指導では、提示資料や発問、学習内容の吟味を心がけ、子供たちが興味・関心をもって学習に取り組めるようにしてきた。十分とはいええないものの、課題につながる資料を指摘したり資料から自分の考えをもったりできるようになってきている。しかし、資料の読み取りが浅かったり自分の考えを詳しく表現していなかったりするため、学び合いが深まらないで終わってしまうこともあった。

そこで、本単元では、今日のような豊かで平和な国家をつくるために、様々な改革や努力を日本政府や国民がしてきたこと、世界の国々のために行っている日本の活動を、写真や映像などの資料を活用し子供たちに気づかせていきたい。

また、資料を読み取るための視点を子供たちと確認して一人学びに入らせたり、一人学びのよい例を紹介したりして、資料活用力や社会的思考力を高めていきたい。

3 単元の目標

- (1) 戦後、日本が民主的な国家をめざして国づくりを進めたことや国民生活が向上し今のような社会になったことに関心をもち進んで追究しようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 戦後、日本が民主的な国づくりを目指したことや国際的な地位が回復したこと、国民生活が向上したことを、資料をもとに考え、これからの日本のあり方について自分なりの判断をすることができる。(社会的思考・判断)
- (3) 戦後の国づくりや国民生活の向上について、その概要や経緯を、各種資料を活用したり聞き取り調査をしたりして調べ、調べた経過や結果を目的に応じて表現できる。(観察・資料活用の技能・表現)
- (4) 民主的な国家づくりのための改革の内容、日本の国際社会での貢献や国民生活の向上について理解することができる。(知識・理解)

4 単元の指導計画(6時間)

次	時	学習のねらい	資料	評価規準	関	思	技	知
第一次	1	戦後の焼け跡の様子と東京オリンピックが開催される頃の写真を見比べ、輸出額の推移をもとにして変化の理由を予想したり、単元を見通したりして、学習問題を設定する。	・焼け跡の様子、東京オリンピックの写真 ・輸出額の推移	・写真や年表をもとに、変化の様子を予想したり学習問題を考えたりしている。 ・グラフの変化の違いを読み取ることができる。	○		○	
	2	新しい憲法の内容やそれにかかわる改革などについて調べ、戦後日本が民主的な国づくりを目指したことをとらえる。	・「新しい憲法のはなし」の挿絵 ・大日本帝国憲法	・教科書や資料集などをもとに、改革のよさを指摘できる。 ・変わった事実をもとに、民主的な国を目指したことをとらえる。		○		
第二次	3	日本が独立を回復し、経済成長を遂げたことについて調べ、豊かで平和な社会を築いていったことをとらえる。	・オリンピックの開催地 ・国民総生産 ・犯罪検挙率 ・地図	・国連加盟や各国との条約を地図と結びつけ理解する。 ・資料をもとに、経済の発展と平和な社会について考える。		○		○
	4	アジアの一員として、世界の中の日本として、日本の貢献について調べ、世界の中での日本の立場をとらえる。	・モンゴルを走る日本のバスの写真 ・政府開発援助資金推移 ・地図	・北方領土、被援助国を地図と結びつけ理解する。 ・援助資金のグラフから課題につながることを読み取ることができる。			○	○
第三次	5	「イラクでの日本の貢献」をテーマに討論を行い、これからの日本のあり方について自分なりの考えをもつ。	・自衛隊の派遣にかかわる新聞記事 ・日航ハイジャックの記事	・新聞記事や自分のもっている情報をもとに、テーマについて考えをもつ。 ・自分の考えを進んで表現している。	○	○		
第四次	6	学習したことを振り返り、新聞に表現することを通し、自分の考えをまとめる。	・教科書 ・資料集 ・ノートなど	・事実を踏まえ、新聞にまとめている。 ・事実と考えを区別し表現できる。	○		○	

(3) 板書計画

1 1/15 96P

課題把握用資料

どんな国づくりを目ざし、何をしたいだろう。

民主的な国づくりを目指し、日本国憲法をつくり、選挙法や教育制度などを変えた。

⑦

- ・戦争のない国
- ・民主的な国

⑧

- ・選挙法
- 男女平等な社会
- ・労働者の権利
- 生活を守る
- ・日本国憲法
- 戦争なし、国民中心 権利尊重
- ・教育制度
- 女子も勉強

正しいこと…戦争のためのものもたない

↓

戦争をしない

⑨

- ①変わったこと
- ②変わったことのよさ

検証用資料

6 中心資料

〈課題把握用資料〉

〈検証用資料〉

「あたらしい憲法のはなし」より
(一部)

「日本の国は、二度と戦争をしないように、兵隊も、軍艦も、飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたないこ



とにしました。しかし、みなさんは、決して心細く思うことはありません。日本は、正しいことをほかの国より先に行っただけです。世の中に、正しいことぐらい強いものはありません。」

大日本帝国憲法		日本国憲法
天皇にある。	主 権	国民にある。
制限つきで認める。	国民の権利	基本的人権を尊重する。
天皇が陸海空軍を率いる。	戦 力	戦力をもたず、戦争をしない。

(社会科資料集9 1Pより作成)

⑩「あたらしい憲法のはなし」のさし絵と内容
(教科書96Pより)